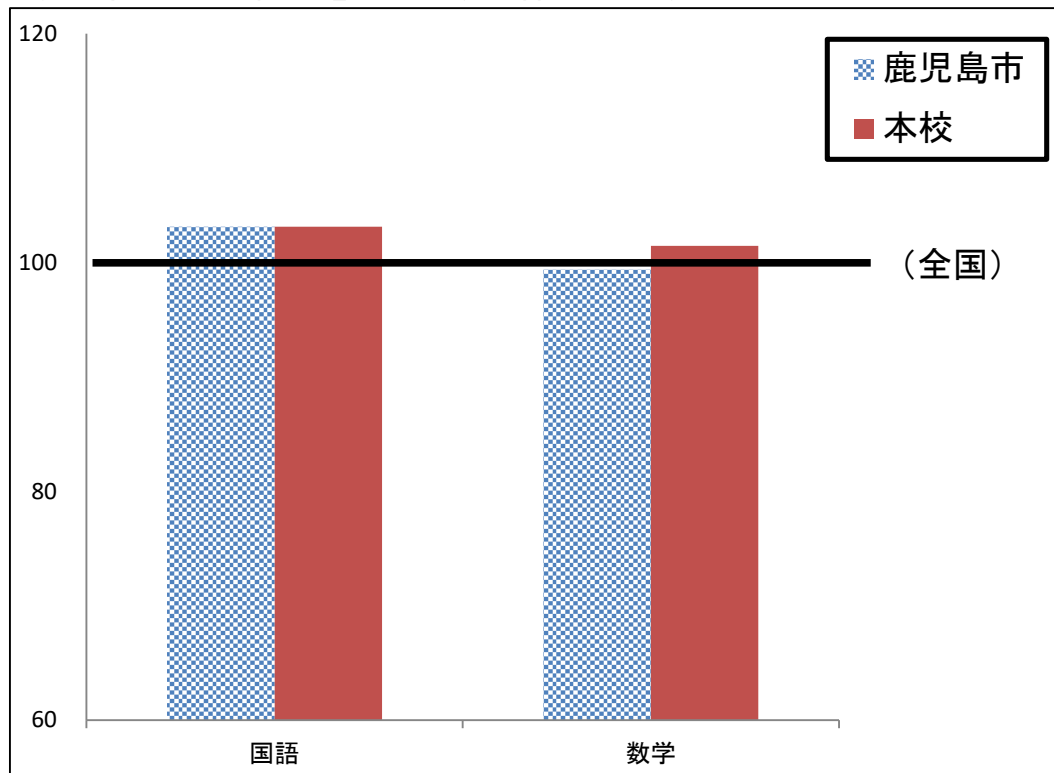


令和7年度全国学力・学習状況調査結果について 武中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較 〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの全分野において、全国を上回るものの、話すこと・聞くことについて課題が残りました。国語だけではなく教育活動全般を通して、根拠をもとに意見を述べる話し合い活動を充実させることや聞く力を高める活動として要点をメモする練習等について継続して取り組んで参ります。

〈数学〉

思考・判断・表現を必要とする問題や図形の領域の問題に対して課題が残りました。根拠を明らかにしながら説明する場面を取り入れることで、数学的に表現する力を付ける指導の工夫に取りむると同時に1・2年生の学習内容の復習にも取り組んで参ります。

〈理科〉

平均IRTスコアは、県を上回りましたが、「生命」を柱とする領域に課題が残りました。観察・実験を中心に据えた授業構成を工夫し、実験後に「なぜそうなるのか」を考察させ、自分の言葉で書かせることに取り組み、思考の深まりを促していきます。

〈全体的に〉

生徒質問調査の結果より本校の生徒は朝食を毎日食べ、決まった時間に起床、就寝している生徒の割合が高い一方、「平日の学習時間」が全国・県より少ない状況です。平日のテレビゲームや動画の視聴等の時間が多いという結果も出ており平日の学習時間が少ない原因であると考えられます。

また、自己肯定感が低く、将来の夢や目標があると答えた生徒の割合も低い結果が出ています。これまで以上に、生徒の長所を認め、伸ばす声かけを行い、将来の夢や目標を生徒自身に見い出させ、自主的に学習に向き合えるように教育活動を充実させていきますので、御家庭でも進路等について話題にしてください。